土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　一級河川太田川水系滝脇川　通常砂防事業に伴う測量設計業務委託

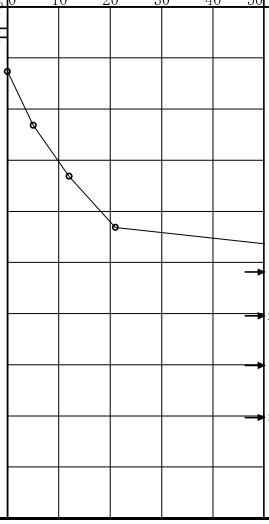
事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor. No. 4	**調査位置**	広島県山県郡北広島町阿坂地内	**北緯**	34° 37′ 47.1822″
発注機関	広島県西部建設事務所安芸太田支所	**調査期間**	2023年 8月 30日 ～ 2023年 8月 31日	**東経**	132° 27′ 4.8478″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**	**コア鑑定者** / **ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 342.04m	**角度**	180° 上下 0° 90°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	8.00m	**地盤勾配**	水平 0° 鉛直 90° 0°	**使用機種**	**試錐機** 東邦D-0 / **エンジン** ヤンマー / **ポンプ** 東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1				粘土質砂		黒～黒灰	rd2		新生代第四紀	旧耕作土。粘土分が非常に多い中～粗砂。CL-0.1mまで植物が混入。全体的に有機物が多い。部分的に粘土分が主体となる。	08.31 09.00 0.60
2	339.14	2.90									
3	338.04	4.00		シルト混じり砂		白灰	rd3			旧渓床の堆積物。シルトを含む粗砂。	
4	337.59	4.45		礫混じり砂		暗灰褐	rd3		中生代白亜紀	最大φ20mmの礫を含む砂。	
5	337.04	5.00		花崗岩強風化土		茶褐				花崗岩の強風化土（砂質土）。軽い指圧で崩せる。DM級	
	336.24	5.80		強風化花崗岩		褐灰				強風化の花崗岩（軟岩Ⅰ）。棒状コア。強い指圧で崩せる。一部風化により粘土化している。DH級	
6				強風化花崗岩		褐灰				強風化の花崗岩（軟岩Ⅰ）。10cm以下の短柱状コア主体。ハンマー軽打で割れる。一部風化により粘土化。コア肌はザラザラしている。CL-7.65m以深は割れ目が密集し、ハンマー軽打で土砂化する。ハンマー打診でやや澄んだ音を発す。CL級	
7											
8	334.04	8.00									
9											

標準貫入試験



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
0	1.00	モン	ケン	自沈	0/500		500						
	1.50												
5	2.15	1	2	2	5/300								
	2.45												
12	3.15	3	5	4	12/300								
	3.45												
21	4.15	8	9	4	21/300								
	4.45												
100	5.10	26	24/50		50/150	150							
	5.25												
250	6.00	50/60			50/60	60							
	6.06												
	7.00	貫入不能			50/0								8/30
375	7.00	50/40			50/40	40							8/31
	8.00												
	8.04												